

平成 28 年度 事業報告

自平成 28 年 4 月 1 日

至平成 29 年 3 月 31 日

事業の概要

平成 28 年度は、公益目的支出計画の実施完了後の初年度として、地図情報技術及び地理空間情報技術に関する研究開発、普及促進、人材育成等事業を一層の充実を図り、地理空間情報活用社会の健全な発展に貢献し、「測量法」並びに「地理空間情報活用推進基本法」に基づいて整備された基盤地図情報と電子国土基本図等の地理空間情報の適正な利活用及び流通に、地図調製技術を駆使して安心・安全や国民生活の利便向上に寄与する事を活動の目的に、次の諸事業を実施した。

1. 地図情報技術及び地理空間情報技術に関する調査・研究開発
地図調製技術の向上を図るため、基盤地図情報及び電子国土基本図並びに電子地形図、数値地図等を流通・利活用促進に関する調査・研究開発を行なう。
2. 地図情報技術及び地理空間情報技術に関する人材育成
地図調製技術者並びに営業担当者等の資質を高めるため、技術研修会・研究会・教育講座・研修事業等を開催する。
3. 地図情報及び地理空間情報に関する広報・普及
地図調製に関する技術等について、内外の情報を収集しその情報資料の蓄積を図るとともに、機関誌の発行、研修会等の開催及びインターネット（ホームページ）を通して地理空間情報の普及の為の広報活動を行う。
4. 国、地方公共団体からの業務受託
5. 国、地方公共団体からの地図調製技術及び地理空間情報に関する調査・研究業務を受託し実施する。
6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業。

I 会議関係

1. 理事会の開催

1) 第 9 回理事会の開催

開催日時 平成 28 年 4 月 13 日(水) 15:00～17:00

開催場所 測量地質健保会館 小会議室

理事総数 9 名

出席理事数 出席理事 9 名

出席監事 2 名

議 事

- (1) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告並びに監査報告について原案通り承認された。
- (2) 第 3 号議案 平成 28 年度事業計画 (案) 及び第 4 号議案 平成 28 年度収支予算 (案) 並びに短期借入金限度額 10,000,000 円を含めて原案通り承認された。
- (3) 定款改訂の件
事務局より議案書に基づき改訂 (案) の説明の後、審議の結果全員異議なく了承された。

その他

- (1) 会員の異動報告
事務局より、平成 28 年 3 月 31 日現在の会員の異動について報告がなされた。
- (2) 業務執行理事の職務の執行状況
業務執行理事より職務の執行状況について書面により報告がなされた。
- (3) 公益目的支出計画の実施完了報告
平成 27 年 12 月 8 日に府益担第 1783 号「公益目的支出計画の実施完了の確認書」を内閣府より受領し、内閣府からの監督から外れ定款に基づき自己責任において事業の実施が可能になった報告がなされ、異議なく了承された。
- (4) 事務局長の雇用契約形態の改定及び事務局員の交替について
稲垣理事より配布資料により改定主旨等について説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

2) 第 10 回理事会の開催

開催日時 平成 28 年 11 月 17 日(金) 15:00~17:00

開催場所 測量地質健保会館 小会議室

理事総数 9 名

出席理事数 出席理事数 9 名

出席監事数 2 名

議 事

- (1) 第 1 号議案 平成 28 年度 事業中間報告
事務局より、議案書及び資料により平成 28 年度上半期 (平成 28 年 4 月 1 日より 9 月 30 日) の会議 (通常総会、理事会、業務執行理事会、委員会) 及び対外的な事業活動の概要について報告され、審議の結果下記の通り全員異議なく承認された。
- (2) 第 2 号議案 平成 28 年度 収支中間報告

事務局より、議案書及び資料により平成 28 年度上半期（平成 28 年 4 月 1 日より 9 月 30 日）の事業の実施に伴う諸費用及び財務状況について報告され、審議の結果下記の通り全員異議なく承認された。

(3) 業務執行理事の職務の執行状況

業務執行理事より職務の執行状況について書面により報告がなされた。

その他

(1) 株式会社セイコー社破産手続き開始について

平成 28 年 9 月 30 日付にて松山地方裁判所より「破産手続き開始」の通知について事務局より報告された。

(2) 平成 28 年度多摩市身のまわりの環境地図作品表彰式について

表彰式において、会長賞の授与及び講評を小島理事が出席する事となった。

(3) 役員改選について

第 5 回通常総会において審議予定の定款改訂及び役員推薦候補（案）については、業務執行理事会にて審議し次回理事会に提出する事となった。

2. 第 4 回通常総会の開催

- 1) 開催日時 平成 28 年 5 月 20 日(金) 15:00～17:00
- 2) 開催場所 測量年金会館 2 階 大会議室
- 3) 会員総数 29 名
- 4) 出席会員数 21 名
- 委任状による代理人数 8 名
- 計 29 名

【第 4 回 通常総会出席者名簿】

(正会員、特別会員)

会 社 名	代表者氏名	出席	委任	会社名	代表者氏名	出席	委任
株式会社 乙媛印刷社	平山 計介		○	特別会員	大竹 一彦	○	
国土地図株式会社	稲垣 秀夫	○		"	大塚 冀一	○	
昇寿チャート株式会社	川井 清維	○		"	小島 久武	○	
株式会社 昭文社	黒田 茂夫		○	"	安藤 保隆	○	
株式会社 JAF 出版社	望月 均		○	"	清水 靖夫	○	
株式会社 ゼンリン	大迫 正男	○		"	上条 勝也		○
株式会社 中央ゾオマックス	田中 尚行	○		"	宇田川政彦		○
東海図版株式会社	山本 幸雄		○	"	川口 博行	○	
有限会社 徳田屋書店	濱田 耕一		○	"	秋山 實	○	
内外地図株式会社	五本木秀昭	○		"	篠原 茂明	○	
株式会社 武揚堂	小島 武也	○		"	大浦 基弘	○	
北海道地図株式会社	秋山 一司	○		"	高橋 則雄		○
NTT 空間情報株式会社	猪瀬 崇	○		"	岩崎 昇一	○	
				"	井上 誠	○	
				"	朝日 守	○	
				"	齊藤 忠光	○	
計		8 名	5 名	計		13 名	3 名

5) 議 事

(1) 第 1 号議案 議事録署名人選任の件

議長が、第 1 号議案 議事録署名人選任の件について審議を諮ったところ、「議長一任」の発案があり、これについて満場一致の承認を受け、事務局に対し議事録署名人(案)の提出を求めた。定款第 19 条に規定される議長及び本
会議の同意を得た川井清維氏及び川口博行氏の 3 名を選出した。

(2) 第 2 号議案 平成 27 年度事業報告、第 3 号議案 平成 27 年度収支決算報告 について原案どおり承認された。

(3) 第 4 号議案 平成 28 年度事業計画(案)、第 5 号議案平成 28 年度収支予算(案)

及び短期借入金限度額 10,000,000 円承認の件を含めた審議を諮ったところ、原案どおり
可決された。

(4) 第 6 号議案 定款改訂の件

稲垣理事より改定に至る主旨並びに経緯について事務局より提出された定款改訂(案)の
変更事項について逐条毎に説明を行った議長が、第 6 号議案定款改訂(案)の審議を諮っ
たところ、満場一致で承認された。

6) その他

(1) 会員の異動報告

事務局から、平成 27 年度の会員の異動について報告された。

(2) 勤続精励者表彰について

勤続精励者表彰が、会員 2 社から 4 名の推薦があり、総会の議事終了後、に表彰式が行
われた。

3. 業務執行理事会の開催

業務執行理事会は 6 回開催され、協会の業務実施の諸懸案事項について審議を行い、事業
を実施した。

第 1 回 平成 28 年 6 月 22 日(水) 出席者 6 名 場所 測量地質健保会館

- ・平成 28 年度委員会事業の件
- ・定款改訂に伴う役員選任について
- ・「測量の日」関連行事「くらしと測量・地図展」について
- ・地図グッズ品評会報告
- ・稲垣理事の大臣表彰報告と今後の表彰推薦候補について
- ・平成 28 年度 5 月末財務状況報告

第2回 平成28年7月20日(水) 出席者6名 場所 測量地質健保会館

- ・G空間EXPOでの日本地図学会主催のシンポジウムへの協力依頼について
- ・地図ジャーナル送付先の再検討について
- ・多摩市のまわりの環境地図作品展「20周年記念事業」について
- ・第18回測量行政懇談会報告
- ・第1回広報連絡協議会報告
- ・(公社)日本測量協会関東支部報告会について
- ・平成28年6月末 財務状況報告

第3回 平成28年9月21日(水) 出席者6名 場所 測量地質健保会館

- ・G空間EXPOでの日本地図学会主催のシンポジウムへの協力依頼について
- ・地図ジャーナル送付先の再検討について
- ・多摩市のまわりの環境地図作品展「20周年記念事業」について
- ・第3回「国土を測る」懇話会報告
- ・「第1回 地図カフェ」開催について
- ・「著作権パンフレット」作成について
- ・「地理調査(事業)を知る講習会(シンポジウム)開催計画について
- ・会員の異動報告について
- ・株式会社セイコー社の倒産について
- ・平成28年8月末 財務状況報告

第4回 平成29年1月18日(水) 出席者6名 場所 測量地質健保会館

審議事項

- ・役員任期満了並びに定款改訂に伴う役員推薦候補(案)について
- ・事務局長の後任人事について
- ・委員会委員改選に伴う運営体制について
- ・事務職員の勤務体制について
- ・平成29年度「くらしと測量・地図展」について
- ・地図グッズ取次販売について
- ・インターネット環境のセキュリティ向上に伴うリース契約更新について
- ・広報連絡協議会HP開設に係る協力依頼について

報告事項

- ・G空間EXPOでの日本地図学会主催のシンポジウム報告

- ・地調協技術シンポジウム報告
- ・第4回「国土を測る」懇話会報告
- ・平成29年度 秋の叙勲・褒章及び大臣表彰候補の推薦について
- ・第5回2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語協議会報告
- ・全国児童生徒地図作品展連絡協議会総会報告
- ・多摩市のまわりの環境地図作品展表彰式出席報告
- ・第8回復興測量支援連絡会報告
- ・「文科省土曜学習応援団」について
- ・国土地理院よりの調査依頼 「一般地図等の定価改定推移調査について」
- ・平成28年12月末 財務状況報告

第5回 平成28年2月15日（水） 出席者6名 場所 測量地質健保会館

審議事項

- ・役員任期満了に伴う役員推薦候補（案）について
- ・業務執行理事増員の為の定款改訂（案）について
- ・委員会委員改選に伴う運営体制について

報告事項

- ・平成29年度「くらしと測量・地図展」について
- ・「測量の日」実行委員会・幹事会報告
- ・今後の表彰推薦状況について
- ・平成29年1月末 財務状況報告

第6回 平成29年3月22日（水） 出席者6名 場所 測量地質健保会館

審議事項

- ・第5回通常総会資料（案）について
- ・第6号議案 定款改訂（案）について
- ・その他 会員の異動報告

報告事項

- ・広報連絡協議会
- ・「測量の日」東京地区実行委員会
- ・第19回測量行政懇談会
- ・第4回3次元総プロ委員会

- ・「入札契約手続きの実施方針について」意見交換会
- ・有限会社徳田屋書店清算開始について

Ⅱ 対外的な事業概要

平成 28 年度も前年に引き続いて、当協会は国土地理院をはじめ関連団体等が開催した懇談会・協議会等に参加し、地図調製業としての立場から積極的に提案等を行い、測量行政並びに地理空間情報の流通・利活用の推進に貢献した。

1. 国土地理院 測量行政懇談会
2. 国土地理院 測量行政懇談会 測量技術者育成検討部会
3. 広報推進協議会
4. 国土地理院 外国人にわかりやすい地図表現検討部会
5. 国土地理院 入札契約手続き等に関する意見交換会
6. 測量の（社会経済）効果に関する研究会
7. 国土交通省総合技術開発プロジェクト「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」委員会
8. 復興測量支援連絡会 幹事2名出席
9. 「測量の日」実行委員会・幹事会
10. 「測量の日」東京地区実行委員会
11. 地理空間情報産官学連携協議会
12. 共通的な基盤技術に関する研究開発ワーキンググループ
13. 地図展推進協議会
14. 日本測量者連盟
15. 日本国際地図学会 総会及び定期大会
16. CPD 協議会連絡会 委員出席
17. デジタル地図用語検討部会
18. 全国児童生徒地図作品展連絡協議会
19. 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会
20. 同 観光・サービス部会
21. 同 アクセシビリティ協議会
22. 公共測量に関する課題調査検討委員会
23. 地理空間情報の共有・相互利用促進に関する専門部会
24. 地理空間情報の共有・相互利用促進に関する運用ルール検討チーム

Ⅲ 事業実施概要

平成 28 年度は、地図調製技術及び地理空間情報技術に関する研究開発、普及促進、人材育成等の事業を行い、地理空間情報活用社会の健全な発展を通じて国民の利便向上に寄与する事を活動の目的に諸事業を実施した。

1. 地図調製技術及び地理空間情報に関する調査・研究開発

- ・平成 28 年度も引続き、2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた多言語対応協議会及び観光・サービス分科会及びアクセシビリティ協議会及び国土地理院「外国人にわかりやすい地図表現検討会」に積極的に参画し、会員各社がこれまで取り組んできた多言語地図をもとに観光庁、東京都、国土地理院の提唱する指標を踏まえ、多言語地図事例を作製し、協会HPで公開した。
- ・日本地図学会の地図用語専門部会で編纂を目指すデジタル地図用語辞典に協力し、「web マップ時代の地図用語の整理」について 3 回の WG に参加した。なお、中間成果として 8 月の定期大会において発表された。

2. 地図調製技術及び地理空間情報に関する人材育成

- ・技術シンポジウム「進化する路線図」～乗り換え検索サービス全盛時代の路線図～を開催した。基調講演及び発表、意見交換を行ない、会場内で展示・デモンストレーションを行った。
- ・平成 28 年度も全国児童生徒地図作品展連絡協議会の特別会員として社会教育の一環として行われている地図を使った教育の一層の向上を図る支援事業として広島県、札幌市、旭川市、多摩市、鳥取県の児童生徒作品展において後援及び表彰状の交付を行った。
- ・国土交通大学校に地図調製に関する講師の派遣を行なった。

3. 地図調製技術及び地理空間情報に関する広報・普及

- ・機関誌「地図ジャーナル」第 179 号、180 号の刊行
- ・「くらしと測量・地図展」への出展
- ・G 空間 EXPO2016 にて国際地図年 (IMY) 特別企画として日本地図学会シンポジウム「地図の歴史と G 空間時代のデジタル地図～アナログ地図にできること、デジタル地図がすべきこと～」をテーマに当協会から 4 人の講師が登壇し、それぞれの経験に基づいた活発な討議が行われた。
- ・地図をテーマとした交流イベント第 1 回「地図カフェ」を開催し、地図グッズを囲んでのトークショーを行った。
- ・ホームページによる情報提供及び広報活動

4. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業。

IV 委員会別事業報告

平成28年度の企画委員会（研究・教育部会、事業部会）及び総務委員会（経営部会、広報部会）は委員会別事業計画に基づき次のとおり実施した。

1. 企画委員会

1) 研究・教育部会は、技術の向上と地理空間情報の普及・利活用を図るため、次の事業を実施した。

- ・平成28年12月6日開催の技術シンポジウム『「進化する路線図」～乗り換え検索サービス全盛時代の路線図の役割とは～』は、パネリストを含め81名が参加した。本シンポジウムでは、最近の路線図の役割も変化してきて「正縮尺の路線図」の任期が高まってきており、こうした交通案内の環境の変化を踏まえてこれからの「路線図」のあり方、情報のアウトプットとしての地図の重要性と、それを担う地図調製業のアイデンティティを示す機会として、地調協ならではの視点を織り交ぜながら様々な立ち位置のパネリストに登場頂き、その後参加者も含めた意見交換を行った。また、会員企業を中心とした展示・デモンストレーションも行い、会員内外の交流を図り活発な研修会となった。
- ・自主的研究として日本地図学会地図用語専門部会に協力し「デジタル地図用語辞典」にWeb マップ時代の地図用語の追録・整理を行う3回のWGに積極的に参加をした。なお、中間成果として8月の日本地図学会定期大会において公表された。
- ・平成28年10月17日に地図をテーマにした交流イベント「地図カフェ」を開催し、ゲストに杉浦貴美子氏（ライター、地図制作、フォトグラファー、著書「地図趣味」）を招いて講演と地図グッズを囲んでのトークショーに63名が参加された。
- ・平成28年6月2日にお茶の水女子大の「地理女子」（地理専攻学生）を招いて「地図グッズ品評会」を開催し、地図グッズの品評及びグッズ開発者との意見交換を行った。

2) 事業部会は、当協会の取り組む事業の推進を図るため、次の事業を実施した。

- ・（一財）建設物価調査会発行「物価資料」に地図調製ページへの資料提供及び隔月に「地図調製の世界」と題した特集記事を寄稿した。
- ・（一財）経済調査会発行「印刷 料金 2017」に地図調製ページへの資料提供を行った。

2. 総務委員会

1) 経営部会は、事業の拡大及び事業の推進を図るため、次の事業を実施した。

- ・地図調製における著作権の類型分析を行い、地調協としての「著作権マニュアル」の作

成を行った。公表に当たっては内部用と外部用に一部内容調製を行い、次年度に向けてHP等での掲載を準備を行った。

2) 広報部会は、協会活動の広報並びに地図の利活用、普及宣伝を図るため、次の事業を実施した。

- ・ 「測量の日」関連行事「くらしと測量・地図展」ではプロジェクションマッピングをはじめ会員社からの出展を行なった。また、昨年に引き続いてアンケート調査を行い実行委員会に集計結果を報告した。さらに、一般来場者向けに会員社より提供された地図 3,000部を配布し広報宣伝活動を行った。

名 称	主 催 者	開催年月日	会 場	来場者数
くらしと測量・地図展	「測量の日」東京地区実行委員会	平成 28 年 6 月 8 日～10 日	新宿駅西口広場 イベントコーナー	約 9,000 人

- ・ 地図展 2016「ももりん福島市の魅力」平成 28 年 11 月 4 日（金）～11 月 13 日（日）の間福島市アクティブシニアセンターAOZにて開催され、当協会は主催団体（地図展推進協議会）の構成員として参画した。
- ・ インターネット環境を活用した情報提供及び広報宣伝活用
協会のホームページを活用し、会員に対しては最新の地図関連情報を提供し、一般に対してはタイムリーな情報をリリース、ホームページの更新を実施。
- ・ 機関誌「地図ジャーナル」の刊行
特集記事を主体に広報誌を作成し、年 2 回刊行した。

品 名	発行部数	発行 月	主 な 記 事
N0179 号	800 部	平成 28 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特集「広がる地図 Goods の世界」 ～地図 Goods はトレンドを作れるか～ ・ 特集「進化する路線図」 ～乗り換え検索サービス全盛時代の路線図の役割とは～ ・ 「くらしと測量・地図展」 ～楽しみながら地図を読み、大地を測る～
N0180 号	800 部	平成 29 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特集「地図と教育」 ～「地図」をどう教育の中で活用していくのか、 その目的と手法はどのあたりにあるのか～ ・ G 空間 EXPO2016 に見た地図イノベーションの新しい潮流 ・ 平成 28 年度地調協技術シンポジウム報告